



## 我々の主張

黒石駅に降り立った人々の目にたつて、駅からこみせ通りまでの人の流れを考えます。

## 黒石に対する印象

私たちは黒石駅に降り立ち、黒石が誇る伝統的な風景をほじめ、その他の歴史や文化、そして暮らしや空間など様々なものを覚えました。

その印象として残りは、残念ながら、駅からこみせ通りまで、歩いて楽しいと感じる空間だと感じることができませんでした。それはとても残念なことです。歴史的な街並みや景観ならではのこみせ、その他多くの歴史的なものが、まちなかにあるにも関わらず、それらをキチンとみてくれる観光客はどれくらいいるでしょう。

活気する文化財や歴史や街並みなどになっている空間をうまく活用することによって、街並みが楽しめることできる街を目指します。



「こみせ通り」の現状。駅とこみせ通りをつなぐ歩行者の少ない状況。

## こみせの概念を計画に活かす

どのように駅を下りた人を、こみせ通りに誘導するかを考えるにあたりこみせがもつ「駅内空間に存在する公共性（公共性とも呼ばれる）を他の人にも誘導する」という概念に着目しました。

そうした概念も、駅からこみせ通りまで黒石を訪れた人を誘導する方法に探ります。

駅内も空間の一部を抽出し、魅力的な空間を創出してゆく、そうした「こみせ」が持つ性格を他の地域でも応用することによって、「黒石の魅力を他へ広げたい」となることを考えます。

## どこをきっかけに考えるか

黒石全体を対象として、同時に計画していくことは非常に難しいです。

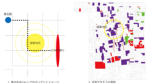
そこで、私たちが考える場所をきつかけとして、黒石街が楽しんでもらえる街を目指していきます。

私たちは、駅とこみせ通りの真ん中に位置する場所を

1. ちょうど真ん中に位置する
2. 周辺空間が賑わいやすい空間や、魅力的な空間が近くにある

上図、2つの場所で探りました。

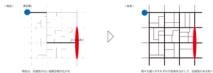
今後の展開は、選んだ場所を中心として、駅からこみせ通りまでを計画します。



## 将来への展望

わたしたちの選んだ場所は、将来への発展性が認められる可能性があります。

それは、駅内となっている空間、かくしに広げることができることによって、ほしめ街の場所を中心として将来の賑わいを、もっと広い範囲に拡大されていくことでしょう。



現状、駅内からこみせ通りまでの範囲

駅を中心とした周辺の発展を促し、広範囲をカバー